

## Bチャレ チャレンジ部門 実績報告書

<b>団体名</b>	藍染大通り遊戯道路指定50周年記念誌編集委員会	<b>作成日</b>	2023/2/7
<b>企画名</b>	藍染大通り遊戯道路指定50周年記念誌		
<b>あなたが考える 文京区の課題</b>	<p>遊戯道路をはじめとする地域のコミュニティ拠点の価値が認知されていないことが課題だと考える。</p> <p>1970年代に全国で整備された「遊戯道路」は、子どもの遊び場確保という当初の目的を超えて、世代を超えた地域コミュニティの拠点となってきた。しかし、公園等の整備が進む中で遊び場の量的な確保という意義は薄れ、コミュニティ拠点としての価値も忘れ去られようとしている。文京区内に30箇所以上あるものの、活用されているのはわずか3-4箇所程度であり、存続の危機に瀕している。模範的な活用事例である藍染大通りでも、周囲の理解の低下が課題になっている。豊かな地域生活を支える存在の価値に気づいてもらい、守っていくことが大切だと考えている。</p>		
<b>実施期間</b>	2022年6~11月	<b>実施場所</b>	根津 藍染大通り周辺
<b>対象者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藍染大通りや他の遊戯道路周辺に住む、遊戯道路への理解が低い方</li> <li>・ 地域コミュニティに参加したい新規住民や高齢者等</li> <li>・ 文京区内で子育てをする保護者</li> </ul>		
<b>企画内容</b>	<p>遊戯道路が果たしてきた「世代を超えた地域コミュニティの拠点」という価値を、上記対象者に知ってもらうために、まちづくり等の専門家を含む有志メンバーにより、藍染町会等と協力しながら冊子を制作した。</p> <p>【冊子の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藍染大通りの歴史</li> <li>・ 藍染大通りの風景(日常~イベントまで近年の写真で紹介)</li> <li>・ まちなみの比較(1988年と2022年)</li> <li>・ 町会役員インタビュー</li> <li>・ 子どもインタビュー</li> <li>・ まちづくりや郷土史の専門家・プレーヤーによる、遊戯道路の価値の解説</li> <li>・ 藍染大通りに来た方から集めた寄せ書き</li> <li>・ 今後の使い方に関する提案</li> </ul> <p>【冊子の配布】</p> <p>2,000部を印刷した。</p> <p>記念誌のお披露目を目的とした記念イベントを、藍染町会と共催の形で11月6日に開催し、町内外の方に配布した。(800部)</p>		

	<p>イベント終了後、文京区施設・近隣店舗等20箇所で配布、図書館に配架した。(600部)</p> <p>またWEBサイトにもデータを掲載し、誰でも閲覧できるようにしている。(残り600部は今後のイベント等での配布のために保管中)</p>		
<b>参加者の募集方法</b>	<p>【近隣住民向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントポスター掲示：イベント2週間前より、文京区施設・町会掲示板・沿道店舗・駅等に計50枚掲示した</li> <li>・イベントチラシ配布：イベント2週間前より、文京区施設・沿道店舗等20箇所で計1,000枚配布した。また藍染町内の方にはポスティングを実施した。</li> </ul> <p>【その他の方向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS：イベント1ヶ月前より、冊子の内容やイベント詳細について投稿、近隣店舗等の協力をいただきながら拡散した</li> </ul>		
<b>協力した団体・個人</b>	<p>【町会】 藍染町会、根津弥生七ヶ町連合会</p> <p>【施設】 根津地域活動センター・不忍通りふれあい館、東京メトロ千代田線根津駅</p> <p>【沿道・周辺店舗等】</p> <p>地域サロンアイソメ、鷹匠、Bonfire、REN、芋甚、バーバーコ、ルクシネ、HATENA nezu、ボヘミアン、古道具マネキン、レジニシエ、海上海、そばカワイ、ねづくりや、Player's BAR R、往来堂書店、ひるねこブックス、根津カレーラッキー、一卵亭、澤野屋、さんさき坂カフェ、りんごや、東京キチ</p>		
<b>助成申請額/事業総額</b>	200,000 / 214,658		
<b>費用内訳 《当初予定》</b>	品目	金額	備考
	冊子印刷費	100,000	A5サイズ/48ページ/フルカラー/500部を想定
	貸しスペース利用料	30,000	1500円×20時間程度
	外部協力者謝金	40,000	外部の執筆者・イベント登壇者・編集デザイナー等 5000円×8名程度
	発送経費	30,000	郵送 100口

	品目	金額	備考
費用内訳 《結果》	冊子印刷費	111,400	B5サイズ/32ページ/フルカラー /2,000部
	チラシ・ポスター印刷費	14,480	チラシ2,000枚、ポスター50枚
	貸しスペース利用料	18,000	地域サロンアイソメ 1,500円×12時間
	外部協力者謝金	38,000	外部執筆者(3,000円×2名)・イラスト作成(2,000円×1名) イベント登壇者(10,000×3名)
	展示制作費	2,728	パネル作成
	記念品制作費	30,050	記念木札制作(木材17,000、印刷 13,050)
			※赤字分は藍染町会より補填
企画の成果	<p>1.当初想定していた成果に対して、達成度合いは10点満点中、何点ですか。その理由も含めて記載してください</p> <p>10点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの関係者の協力により、当初想定を超えた充実した内容の冊子を制作することができた。</li> <li>・当初想定よりも多い部数およびイベントを含めた多様な配布方法で、多くの方に冊子を届けることができた。</li> <li>・期待していた周囲の住民の理解の向上や、近隣や子育て世代の新規利用者の増加が、その後の遊戯道路運営の中で確認されている。</li> </ul>		
	<p>2.企画を行なってみて、初めて気付いたこと、改めて確認できたことを記入してください(箇条書でも可)</p> <p>【冊子制作の過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者の努力や工夫があって継続してきたことが改めて確認できた。</li> <li>・主な利用者以外にも、遊戯道路の意義を感じこの場所に愛着を持っている近隣住民などが想像以上に多いことに気づいた。</li> </ul> <p>【企画に対する反応より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・存在は知りながら参加するハードルが高いと感じる近隣住民が多数いたことが判明し、今後の運営の大きな参考になった。</li> <li>・経緯や目的を知らなかった方が多いことも改めて確認できた。</li> </ul>		

3.あなたの考えた課題は“文京区の課題”と言えますか？

はい

【理由】

本企画を通して、藍染大通りの地域のコミュニティ拠点の価値は、当事者自身が十分評価できていなかったこと、また周囲の方に認知されていなかったことが確認された。

藍染大通りのような比較的活発に活用されているコミュニティ拠点でもこのような課題を抱えていたことから、他の文京区の潜在的なコミュニティ拠点はより大きな課題を抱えていることが推察される。

※追加別添1：この事業を通じて制作したチラシなどのデータ

※追加別添2：この事業の様子が分かる公開可能な写真データ（10枚以内）